

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の古いお宝再発見～第2章～事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 0263-67-2064
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / <u>ソフト・ハード</u>
総事業費	2,237,613 円 (うち支援金: 1,509,000円)

#### 事業内容

地域の古いお宝再発見

ソフト事業 善光寺街道整備乱橋宿マップ作成、善光寺街道めぐり講座、善光寺街道写真コンテスト。

昔チャレンジ教室 坂北地域東畑遺跡発掘10周年イベント 現地見学 講演会 まが玉づくり。

ハード事業

文化財案内標柱、案内看板の整備

地域住民の協働による街道案内、標柱・案内看板の整備。



【標柱・案内看板協働による設置作業】

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域の協働事業の推進
- ② 文化財ボランティアの育成
- ③ 地域の文化財の保護及びPR
- ④ 地域活性化、都市との交流

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ソフト事業 善光寺街道乱橋宿マップの作成、街道めぐり 地域ボランティアの育成など、街道の歴史文化に触れる良い機会が企画できた。

昔チャレンジ教室、坂北東畑遺跡イベント、地域の縄文文化に触れる良い機会ができた、また、子どもたちのまが玉づくりもボランティアの指導で良かった。

ハード事業 地域の歴史を知らせる、案内標柱、看板の整備が、住民の地域協働による整備を加えて、整備することができたことは、地域の文化財の保存PRに貢献できた。

※自己評価 【 B 】

【理由】  
計画した事業が、地域のボランティア、地域住民の協働など村民を巻き込んだ事業ができ大変良かった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

村の宝である、文化財保護を今後も進めるとともに、地域住民の協働による保全活動、ボランティアガイドの育成による、都市との交流、街道イベントの開催。

史跡などの文化財を世に出す、地域住民との協働による、案内標柱、看板の整備。

子供たちに地域の文化財を知ってもらい、昔チャレンジ教室の開催。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある